

2023年3月6日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 長谷川 弘

モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業  
(協力準備調査(有償))  
スコーピング案に対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2023年2月20日(月) 14:00～17:30
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、源氏田委員、長谷川委員、原嶋委員
- ・議題：モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業(協力準備調査(有償))に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：
  - 1) 【事前配布資料】モロッコ国ガルブ地域灌漑開発事業(協力準備調査(有償)) SC 案
  - 2) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第146回委員会)

- ・日時：2023年3月6日(金) 13:57～16:12
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 河川の流量管理に関して、モロッコ国の現在検討中の上位計画における本事業の位置づけを DFR に記載すること。

### **スコーピングマトリクス**

2. 井戸水や天水から灌漑用水への移行に伴うコスト負担増加などによって小規模農家が大規模農家より不利とならず、さらに小規模農家が営農から排除されないよう必要な措置を検討し、DFR に記載すること。
3. 鳥類は、Sebou 川のほか、同川と水系の異なる 2 つのラムサール条約登録湿地、KBA 等も利用している可能性もある。本事業により、取水地点よりも下流の Sebou 川における流量が低下し、それに伴って水生の動植物、さらにそれを餌とする鳥類の生態系に影響を及ぼすおそれがあることから、鳥類を含む生態系について、慎重に現地調査、関係者へのインタビューを実施し、結果を DFR に記載すること。

### **社会配慮**

4. 灌漑施設の整備に伴って、乾期における河川水面の低下がもたらす社会的な影響、特に小規模な活動（漁業、レクリエーション等）への影響について聞き取り調査を行い、その結果を DFR に記載すること。
5. 本事業ではパイプライン埋設（暗渠水路設置）が行われるが、このための地下利用に関する権利関係について確認し、土地利用への制約を回避するとともに、現地法で補償が必要であればこれを実施することを実施機関と協議すること。

以 上